

慶蔵院寺報

# 公孫樹

2025年1月発行

第156号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

TEL 0596(22)3726



山村御流の生け花 寒桜と竜胆 画 山寄淑子

## 新年おめでとうございま

令和七年、公孫樹に「昭和つれづれ物語」コーナーが始まります。中瀬さんに続いて皆さんの投稿をお願いします。順次掲載させていただきます

教室では、「羊毛フェルト教室」が始まります。伊勢在任の方、名古屋・大阪で専門学校講師も務めておられます。興味のある方はどうぞおいでください。

永代供養墓、いよいよ着工します。先ず三十基準備します。その場所に永久に残します。ここが故郷になります。一つ一つ、必要経費は安価に、しかも個性を大切にしたい、供養墓が目指せると確信しています。墓は無くしてしまうのではなく、どのように守っていくかが大切です。墓と菩提寺に家族ルーツがとどめられるように…。

健康体を取り戻しつつある任職は、令和十年十一月一日〜五日の五重相伝、令和十二年十一月の晋山式に向けて歩み出します。晋山式とは、私が任職を退職し、慶蔵院第二十六世任職誕生の儀式です。楽しみにその日が迎えられるように、皆さまも、どうぞ健康で元気にお過ごしください。ともに念仏信仰の倍増を持ってこの日を迎えられますように…。

四十歳代で発症した緑内障は、幸いにも半分ほどの視野を保ってくれ、この五年間、進行の悪化はくい止められています。しかし徐々に白内障が進みつつあります。手術はしたくないのですが、拡大コピーをして新聞を読まなければならぬのが不便ですが、受け入れています。ところが最近図書館で22ポイントのゴジック体の大型活字書籍を知りました。これまで読んできた書物のジャンルからははずれる内容の本が多いのですが、手あたり次第読破していこうと思ったら、また人生が豊かに楽しくなってきました。人生再生産と行きたいものです。



# 1月の行事予定



8日(水)	写経会 (新)羊毛フェルト教室 講師 monmo	午前10時～ 本堂にて 午後1時～3時 一会館にて 午後5時～
15日(水)	男性詠唱隊 健康教室 講師 馬場久美子先生 落語会「いちご亭」 南遊亭栄歌・安楽亭東風	午後1時～3時 本堂にて 参加費500円 午後7時～ 一会館にて
9日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 参加費1回1000円
22日(水)	地蔵講・地蔵堂御開帳	午後1時半～ 地蔵堂にて
25日(土)	戦没者慰霊・平和の鐘	朝の勤行にて、 鐘撞きは午前8時頃
10日・24日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子ども茶道教室 午後7時半～大人茶道教室 参加費 大人500円 一会館にて
11日・25日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円



慶蔵院豆知識

20

## 月について一考

月と言え、

まず、宗歌「月影」、

―月影の至らぬ里はなけれども

眺むる人の心にぞ澄む―

法然上人御作の和歌です。これは「光明撰取の文」―如来の光明はあまねく十方の世界を照らして念仏の衆生を撰取して捨て給わず（阿弥陀仏の光明は全世界をあまねく照らしどんな人でも救い取る）というお念仏の心髓を歌ったものです。月影、すなわち月の光は、やさしく、見ることができません。それは阿弥陀様の慈悲の光です。絶対無限の光明です。光明が光（電磁波）と考えるなら、無限のエネルギー（ちから）があることになりました。超日月光とも言います。

目には見えない紫外線やエックス線、ガンマ線が考えられます。体の表面だけでなく、体の中まで通って来ます。心の中まで通って来るのではないでしょう。か。

また、月は自転周期（月が回転する周期）と公転周期（月が地球の周りを回る周期）が一致しているため、地球にいつも同じ面を向けていて、月の裏側は地球からは見ることはできません、さらに月は潮の満ち引きを起します。月の形は毎日変わるため明治5年まで太陰暦がつかわれていました。文学にも月を扱ったものがたくさんあります。

(文 麻畑公生)



## 住職の健康回復への道のり(35)

病気は、氷山の一角。長い時間かかって蓄積してきた病気の原因は、氷山の見えない部分に隠れている。この部分に働きかけて、元の健康体を取り戻すための療法、これがロブ療法である。健康の基準は「上腹部のやわらかさ」にある。病気の人は、これが固い。上腹部を柔らかく変えていくことで元の健康を取り戻す。

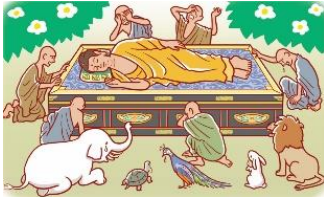
お腹を温め、体操の実技を行い、よく噛んで食事をとり、暴飲暴食を避け、冷たい物を避け、身体を冷やさない等、徹底した生活習慣の見直し改善。自分でも気づいていなかった生い立ちからくる価値観とも向き合っていく。この道のりは、健康の回復だけでなく、人間再生の道のりのようである。毎日が楽しいのです。...

## 涅槃会 二月九日(日)

お楽しみに!!

### 日程

午後一時 法要  
 一時半〜法話  
 二時半〜休憩  
 三時〜法話



説教師

大阪

茨木市

乗雲寺

安井隆同上人

## 昭和つれづれ物語 ①

私の心の風景は旧23号  
 日本で初めての有料道路。  
 昭和28年頃出来ました。

当時はアサブラ(ゴムぞうり)のうらがへると言い、あの道を友達とはだして歩きました。



私は今も思い出します。小学生のころ父親が雪の日に荷車で学校の前で待っていてくれた事。嬉しいやらはすかしいやら、お父さんありがとう。

小学校の横を流れている小川の水で教室の掃除をした時の水の冷たかった事、又魚とりに夢中になって授業の始まりもわすれていた事、先生に怒られました。

冬になると裏の畑の畑の大根のはさで、その段々に登ってたこあげをした事。

有田小学校の帰り道 田んぼのススキ(丸くつんだもの)にもたれて、鉛筆を削ったり、歌もうたったり、楽しい思い出がいっぱいです。

中学生の頃、村の公民館と言っても小屋でした。同窓会を男女合わせ15から16人で行いました。台風情報のない時代、その夜嵐になり、そこで一夜を明かしました。親が迎えに来ることもなく、怒られる事もなく、80代になった今も人数は少なくなりましたが続いています

小学校から家までは30分以上は歩きます。学校の近くの人はいいなあと思いました。砂利道も馬車が通っていました。その荷台にカバンを入れてぶらさがり帰ります。馬車のおじさんはおこりませんでした。今思うと家が遠い事はいろいろと思いが残ってよかったです。

(文 中瀬志津子)

今年は昭和百年にあたり、新コーナー「昭和つれづれ物語」を作りました。みなさんの投稿をお待ちします。



落語会「いちご亭」 一月十五日(水)  
 午後七時〜

慶蔵院「一会館」にて

無料です

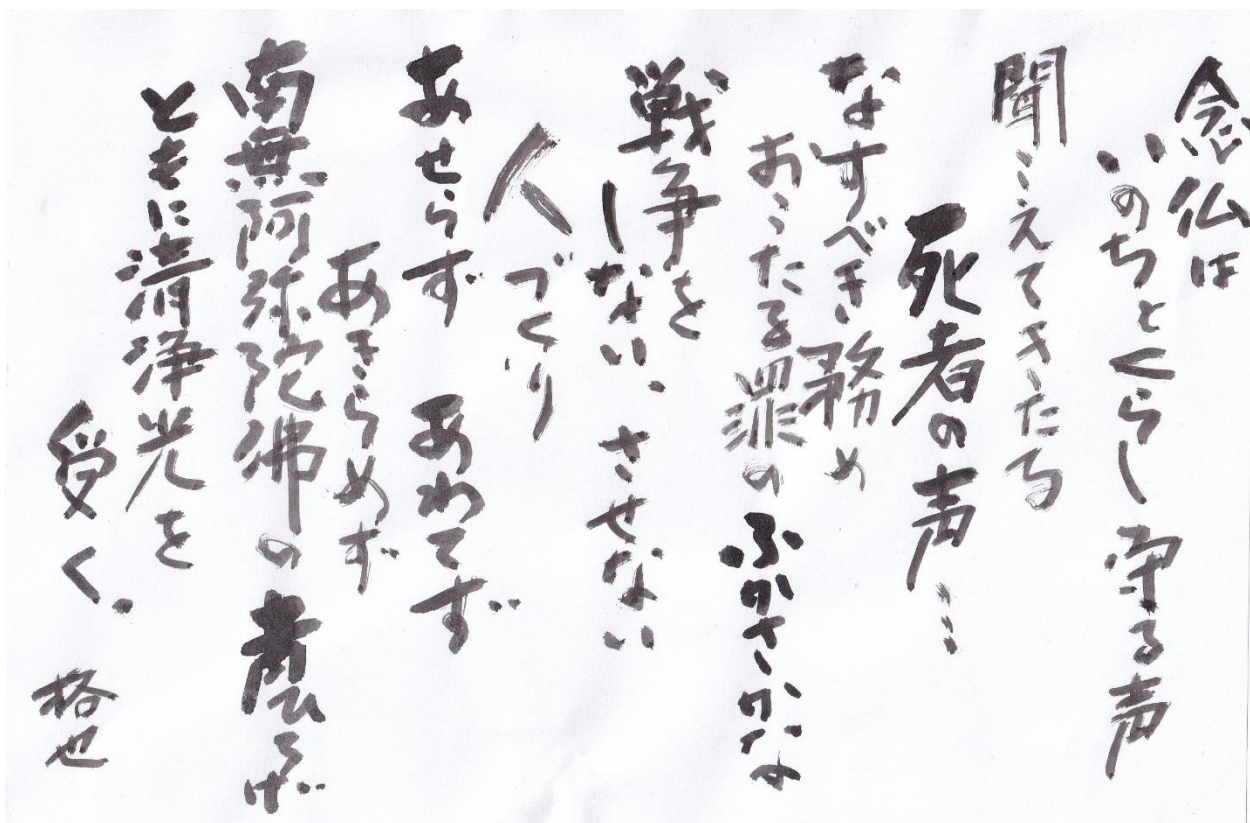
出演

法話 慶蔵院住職

落語 南遊亭栄歌

安楽亭東風





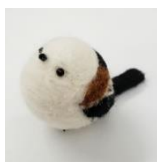
☆おしらせ☆

新教室 1月8日(水)  
13時~始まります!!

羊毛フェルト教室

ニードル針で羊毛を形作っていく手芸。講師の monmo さんから生まれる愛らしい動物たちを見ると作ってみたいくなります。興味のある方は、午後1時からどうぞ見学に来てください。

monmo 羊毛フェルトで  
ネット検索してみてください。



朝の勤行に届けていただいた中日新聞記事、「近現代史研究会」会員の佐生共一氏が書いておられた。(令和6年12月22日中日新聞)

日本国憲法前文にある「人類普遍の原理」の言葉の意味について…。氏は述べている。「いつの世でも戦乱の時代に真っ先に『民』が犠牲になる。だからこそ『治国安民』の政治実現が普遍の原理になりうる…とりわけ日本国憲法9条は人類普遍の原理の中心」と反戦平和を説く。

古儒学が専門の氏にとって「日本国憲法の源流は古儒学」…。「儒教で言う『仁』や『礼』のキーワードも反戦争につながる。昨今の世界での戦乱を止めるのは、この古儒学の原理に国の指導者が立ち返ることが出来るからだ」。ちょっと待った。指導者だけに求めるのですかといいたい。主権は国民にあるのですから。私達一人一人が務めを怠ることの罪に陥ってはならないでしょう。